

島谷ひろのり

しまや 議会レポート



プロフィール

- 出身：青森県八戸市
- 生年月日：昭和55年2月13日
- 学歴：八戸工業高等専門学校（電気工学科）卒業
- 家族：妻と長女・次女の4人家族
- 現住所：日野市旭が丘2丁目
- 趣味：バレーボール、ランニング、山登り

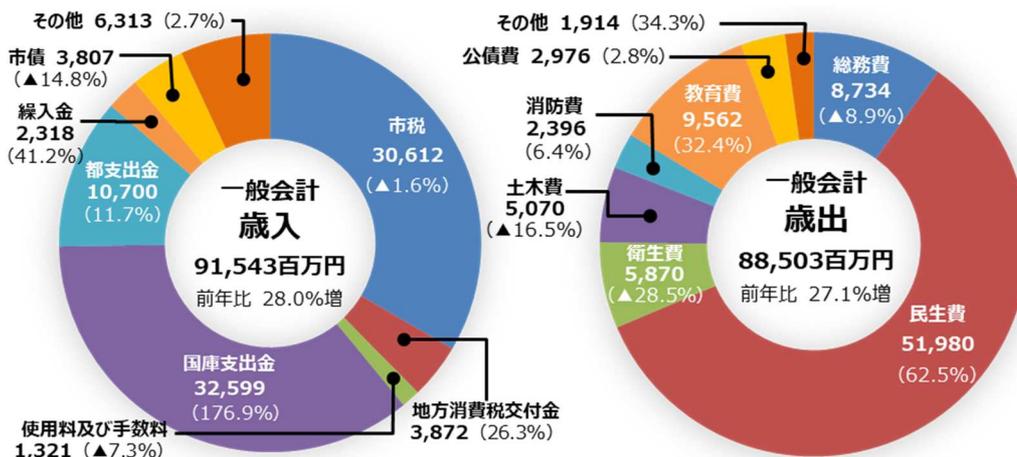
みんなの想いを力に変えて確かな未来を創る!!

令和3年第3回日野市議会定例会が9月1日から9月28日まで開催され、市長より提出された議案、補正予算及び令和2年度一般会計ならびに特別会計決算などの審議、新型コロナウイルス感染症対策に関する対応など、活発な議論が交わされました。一般質問は22名の議員が行っております。審議された議案については賛成多数で可決されております。

本定例会で審議された内容や、一般質問で島谷ひろのりが議題とした内容、トピックスも含め、以下、主な内容をご報告させていただきます。

■ 令和3年第3回定例会 議案等審議結果についての詳細は日野市議会HPへ
 第3回定例会議案審議結果一覧 <http://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1018010.html> 日野市HP ページID 1018010

I. 令和2年度日野市一般会計決算及び特別会計別決算について



■ 日野市特別会計決算 単位: 百万円

事業名	決算額 (歳出)	内、一般会計からの繰入金	
		金額	前年比
国民健康保険	15,220	2,019	(8.9)
土地地区画整理事業	2,845	1,376	(4.8)
介護保険	14,311	2,196	(6.7)
後期高齢者医療	4,521	1,982	(1.5)
市立病院事業	9,942	1,214	(21.4)
下水道事業	6,207	1,568	(▲5.8)

注 () 内前年度増減率
 下水道事業は「官庁会計」から「公営企業会計」に移行前年度増減率は一部 (-) となります。

歳入が約915億円と前年比約25%増、歳出が約885億円と前年比約24%増。また、実質単年度収支も8億円近く改善され7.7億円の黒字となりました。基金繰入金も前年度44.2億円から23.9億円に減少し、市債についても前年度と比較して44.7億円から38.1億円へと6.6億円の減少。

新型コロナウイルス対策で国(内、特別定額給付金で約188億円)や東京都の補助金があったことが大きな要因となります。

財政の状況を示す指数は改善されたことは評価する一方、財政再建による緊縮財政と、コロナ対策による財政出動が長期化することにより、財政再建への道筋がかすんでしまうことを懸念します。

「伝える」から「伝わる」へ。市民にわかりやすい言語、表現を用いて、再度「コロナ対策の財政出動をしつつも不退転の覚悟で財政再建に臨む市長の決意」をわかりやすく説明していただく。加えて、事業の組み立てについては庁内の部署間の連携を重視し、コロナ禍という未曾有の危機を乗り越え「市民生活を守る!!」という庁内全体が一丸となる意識共有を図ることを、会派意見として申し添えました。

II. 子ども関連施設における感染者発生時のPCR検査実施体制の整備

<事業概要>

新型コロナウイルスの感染が拡大し、特に子どもの感染者数が増加している状況を踏まえ、施設内で感染者が発生した場合の授業・サービスの継続や感染への不安解消を目的に、園児・児童・生徒・利用者及び職員等に対し、PCR検査ができるよう体制を整えます。

① 対象施設

小学校、中学校、幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館、子ども家庭支援センター、発達教育支援センター(エール)他

② 対象者

上記施設の利用者及び勤務している職員(但し、感染者と接触があるなど検査の必要が認められるもの、かつ「検査を希望するもの」)

③ 実施期間 令和3年10月～12月

Ⅲ. 島谷ひろのり一般質問（概要）

〔1〕 建設キャリアアップシステムについて、日野市の考えを問う

発注側となる自治体の意義として透明性かつ品質の高い工事案件につながることはもちろん、市民生活を日ごろから見えない部分で下支えいただいている事業者の方々が、将来にわたって安心して働ける環境へとつながるべく、市の考えを質しました。（以下は要点のみ抜粋）

建設キャリアアップシステム(CCUS)とは、

建設現場に携わる技能者の就労履歴や保有資格などを業界統一のルールで蓄積することで「技能の公正な評価」「工物品質の向上」「現場の効率化」を図り、建設技能者の「処遇改善」や「技能の研鑽」、建設業界の魅力向上につながることを目的として、2019年4月1日より本格運用が始まった官民一体で取り組んでいるシステム。

●島谷ひろのり議員⇒ 建設キャリアアップシステム登録の現状について、市内事業者の登録数と登録率を伺う。（令和3年9月時点）



◆日野市 建設キャリアアップシステムに関係してくる商工会員建築業部会の事業者数は **313 事業者**。このうち、システムに登録のある事業者数は **18 件**で、**登録率は 5.8%**となっている。また、商工会員以外の登録数は 48 件。

●島谷ひろのり議員⇒市内事業者を支えていくためにも、
A) 日野市職員、及び民間企業など含めた CCUS の周知
B) 登録の支援 C) カードリーダー設置費用の助成
など、日野市として取り組んでいただきたい。日野市の見解を伺う。

◆日野市 国土交通省では 2024 年度（令和 6 年度）までに全技能者の登録を目標に掲げている。公共工事で建設キャリアアップシステム（CCUS）の導入状況を反映している自治体も出てきていることから、市内事業者が不利にならないよう、日野市商工会と連携しシステムの周知を実施していく。さらに、今後の登録事業者数の状況によっては、登録を促進するための具体的な支援策についても検討していく。

〔2〕 学校現場でのネットリテラシー・情報モラル教育について

青少年に対して適切にインターネットを利用させる責務があるのは「保護者」として謳われている中で、教育現場でインターネットなどが益々活用されていく。子どもの「ネット力」を養う基礎的な教育を自治体の責務として、学校現場の中でどのように行っていくかが問われてくる新たな時代に入ったと捉え、日野市の現状と、今後の方向性を質しました。

●島谷ひろのり議員⇒ 小学校・中学校でのネットリテラシー・情報モラル教育の現状を伺う。

◆日野市 情報モラルに関わる内容は、特別活動、学級活動の時間として実施している。（東京都教育委員会補助教材「SNS 東京ノート」を活用）チャット機能などコミュニケーションで起きたトラブルへの対応には、一つの正しい対応があるわけではない。児童生徒が教員と一緒に SNS を介したコミュニケーションのあり方について対話を行い、最も好ましい答えを見つける経験を重ねることが大切と考え、児童生徒を「SNS 学校ルール」づくりに参加させ見直しをすることで、情報モラルについての意識を高める児童生徒の主体的な学びを進める。

●島谷ひろのり議員⇒ 今では「デマ情報を投稿すること」だけでなく、それを「リツイート」することも罪に問われる時代が変わった。時代の変化、環境の変化に迅速に対応していく柔軟性、「ネットリテラシー・情報モラル教育」はセット、パッケージとして更に力を入れて進めていただきたい。

■ 一般質問の録画中継は日野市役所 HP で視聴できます。

<http://www.hino-city.stream.jfit.co.jp/>



市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

島谷ひろのり相談室

TEL:042-581-8509 FAX:042-585-6005

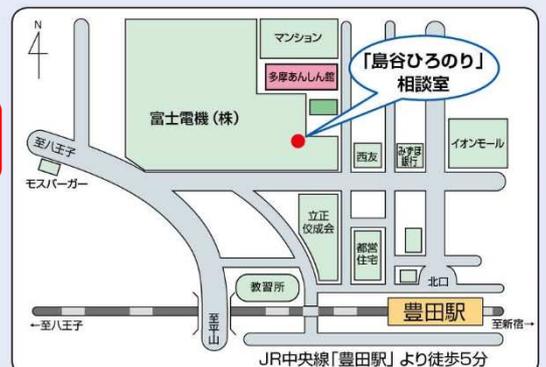
E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com

今回
開設しました!

HPとフェイスブックより活動内容をご覧ください。



お友達登録をお願いします!



編集・発行：島谷ひろのり後援会

住所：東京都日野市富士町1番地 TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133

豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩1分です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。